

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6 85%	1 15%		
2	職員の配置数は適切であるか	6 85%	1 15%		
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7 100%			
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	4 57.0%	1 15.0%	2 28.0%	
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者などの意向等を把握し、業務改善につなげているか	4 57.0%	2 28.0%	1 15.0%	アンケート結果、意見の情報をスタッフで共有しているが、業務改善に繋げていくことが課題である。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7 100.0%			
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7 100.0%	
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3 43.0%	2 29.0%	1 14.0%	無記入1
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6 85.0%	1 15.0%		初日アセスメントは特に重要なので時間をかけている。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5 71.0%	2 29.0%		WISKや医療機関が行った検査結果報告書を（全員ではないが）入手している。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6 85.0%	1 15.0%		
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6 85.0%	1 15.0%		児童達の希望を聞くうちにプログラムが改善され、新しいものが生まれる事がある。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6 85.0%	1 15.0%		休日、長期休暇には、学習時間をマンツーマンで取る児童が多い。休日、長期休暇は利用時間が長く外出レクを取り入れている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6 85.0%	1 15.0%		集団でのスポーツ、個別でプログラミング書道の創作活動を行っている。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4 57.0%	2 29.0%	1 14.0%	急ぐ時にはグループラインを活用している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	4 57.0%	1 14.0%	2 29.0%	急ぐ時にはグループラインを活用している。
17	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6 85.0%	1 15.0%		
18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7 100.0%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	2 29.0%	4 57.0%	1 14.0%	組み合わせることで支援しているが、ガイドラインの原文の周知が必要と思われる。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7 100.0%			
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6 85.0%	1 15.0%		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3 43%	4 57.0%	医療的ケアが必要な自動の該当無し。（アレルギーについては主治医からの書類で確認）
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、自動発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6 85%	1 15%		就学前施設を利用していた児童の移行支援を大切にしています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	5 71.0%	2 29.0%		
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修受けているか	4 57.0%	2 29.0%	1 14.0%	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6 85.0%	1 15.0%		職員の子供が遊びに来て一緒に活動している。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		4 57.0%	3 43.0%	今後の課題である。
28	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7 100%			
29	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		2 29.0%	5 71.0%	保護者からの悩みを傾聴。対応の仕方を連携しているもののトレーニングの講座を持つには至っていない。

30	運営規定、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	7			契約時、重要事項説明の際には、1時間以上かかることを了解してもらった上でやっている。
		100%			
31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
		100.0%			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	5	
		14.0%	14.0%	72.0%	
33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか	7			
		100.0%			
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	1	毎月行事の写真版を各児童それぞれに発行していたが、現在は個々のラインを活用している。
		71.0%	14.5%	14.5%	
35	個人情報に十分注意しているか	7			
		100.0%			
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		
		85.0%	15.0%		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	2	隣接のクリーニング工場で仕事体験ができる。防災訓練にクリーニング工場の人も参加してくれる。
		43.0%	28.5%	28.5%	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
		85.0%	15.0%		
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
		100.0%			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			県主催の虐待防止研修や外部研修を受け事業所内で伝達している。
		100.0%			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	2	1	4	契約時に危険な行為・道路への飛び出し等に関しては指導員が抱きしめる等の行為はあると説明している。計画に記載する必要のある身体拘束は行われていない。
		29.0%	14.0%	57.0%	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	3	1	3	保護者からの聞き取りのみの事もある。
		43.0%	14.0%	43.0%	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	4	ミーティング時にヒヤリとした、又は起こってしまった事の情報を共有するのみにしている。
		29.0%	14.0%	57.0%	